

日銀神戸 支店長の 視点



竜田博之氏

日本サッカー協会のホームページ（HP）によれば、明治初期に日本で初めてフットボールが行われた後、神戸尋常中学校（現・神戸高校）や神戸の御影師範学校などに所謂サッカー部ができ、徐々に国内に広まったそうです。来月初には、引退を表明したスター選手が所属するチームの試合が神戸で行われます。最後にもう一度、勇姿を間近で見る機会を楽しみにしています。

多様なスポーツと充実した施設は、当県が誇る観光資源の一つとも言えます。

当県の観光関連需要をみると、感染症の5類移行等による経済活動の正常化を受け、コロナ禍前の入り込み客

観光関連の需要 取り込み注目

数の水準に復する観光施設もある等、人手不足の問題を抱えつつも、個人消費の回復に向けた明るい動きが財やサービスにも広がっています。

県内の中小企業でも、全国対比遜色のない賃上げが実現できているほか、来月から、「兵庫デステイネーションキャンペーン」が開催され、これを契機に、大阪・関西万博に向けて県内外の観光客が増加することが期待されます。

県では、豊岡のカバン造り、丹波の黒豆等を生かした食の交流体験、三木の鍛冶屋体験、灘五郷の日本酒体験など、県内各地の産業の現場を万博会場以外でも体験できる「ひょうごフィールドパビリオン」として宣伝し、体験型観光で誘客する計画を進めており、既に100超のプログラムを認定しています。

観光を含めて盛り上がる個人消費関連の需要を確実に取り込むことで、企業収益が改善し、所得から支出への好循環が実現できるか、注目しています。